

## 2024年度 事業報告書

(単位：百万円)

	事業名称	事業実績等	予算	実績	差異
1 第3期 認証 評価 結果 への 対応	1) 学修成果把握のためのアセスメントシステムの導入と実施	1) 学部3年生を対象とした外部アセスメントを実施しました。結果は内部質保証推進委員会に報告されるとともに、全学的な報告会を通じて学部・学科にフィードバックされました。	44.9	27.4	17.5
	2) 学部収容定員充足率の適正化	2) 入学者数が目標入学者数を上回ったこともあり、結果、収容定員超過率121.1%となり、引き続き、適正な定員管理に努めます。	—	—	—
	3) 大学院収容定員充足率の向上	3) 収容定員充足率は26.3%（博士前期課程）となり、引き続き、定員充足率の向上に努めます。志願者増加につながる情報提供のためにHPの改修を行いました。	0.9	0.8	0.1
2 教育 力の 強化	1) 令和6（2024）年度新カリキュラム施行	1) カリキュラムの着実な履行のための点検・評価を行いました。	0.9	0.03	0.9
	2) 全学共通カリキュラムの将来構想の提示	2) 全学共通カリキュラムの組織的な点検を続けながら、将来構想について引き続き検討を進めます。	—	—	—
	3) 多様なメディアを用いた授業実施の支援	3) 委託専門業者による円滑な授業実施への支援に努めました。	151.8	151.8	0.0
	4) 「教学IR体制」の整備	4) IR体制強化のための研修、各局部からの要請に基づいた情報分析と分析結果の提供を行いました。また、HP上でファクトブックの公開を行いました。	0.2	1.6	△1.4
3 強化 学生 支援 の	1) 「学生サポート体制」の整備と強化	1) 障がいのある学生の修学支援ではスタッフ体制の強化を図りました。講演会の実施による啓発に努めました。	11.2	7.8	3.4
	2) キャリア形成支援	2) DX推進により、学生に対してより利便性の高い情報提供が可能となりました。	1.3	1.2	0.1
4 の 入 試 化 制 度 ・ 入 試 広 報	1) 志願者増加策、安定した入学者の確保	1) 効果的な広報に加え、本学の受験資格となる外部検定試験のスコアや入試制度の見直しなどを行い、志願者数（含む推薦等入試）は24,200名、入学者数は2,076名となりました。	81.0	81.7	△0.7
	2) 「獨協大学の国際化推進のためのアクションプラン2021」の遂行	2) 「獨協大学の国際化推進に関するビジョン(2014～2024)」についての総括と、新たなビジョン策定についての検討が行われました。また、新たに海外3大学との協定を結びました。	12.2	11.3	0.9
5 人 事 （ 組 織 ）	1) 「ハラスメント防止体制」の整備、諸規則の施行	1) 「ハラスメント防止等に関する規程」の運用を開始し、ハラスメント対策委員会が設置されました。	1.3	0.9	0.4
	2) 新たな人事制度の調査、検討	2) 「基本計画に基づく専任事務職員的人事制度の再構築検討部会」が設置され、「標準職務表の整備」等に着手しました。	0	2.0	△2.0
	3) 獨協アカデミックサポートサービス株式会社（DASS）の積極的活用	3) 教育支援、入試広報等、幅広く業務を委託し、効率化を図りました。	201.8	203.6	△1.8
6 率 既 存 機 器 整 備 計 画 の 検 証 効	1) 情報基盤ネットワークと事務システムの安定稼働	1) 計画に基づく保守点検、更新を進め、安定稼働に努めました。	194.7	158.9	35.8
	2) 重複した教育ツールの見直しに向けた準備	2) 類似機能を持つ教育ツールを整理し、その移行作業を行いました。	0.0	1.7	△1.7
	3) 情報セキュリティ強化	3) 「獨協大学情報セキュリティに関する基本方針」と関連諸規程を策定しました。その他、セキュリティ対策にも努めました。	15.2	9.3	5.9

6 既 存 機 器 修 繕 計 画 の 検 証	4) 省エネルギーの推進	4) 休業期間中の教室棟閉鎖等、省エネルギーの推進と、SDGs 報告書を通じた啓発に努めました。	11.0	10.3	0.7
	5) 既存施設設備のメンテナンス	5) 天野貞祐記念館 GHP、東棟 EHP 他の更新を行いました。また、今後の光熱費高騰、蛍光灯の製造終了に備えて、照明機器の LED 化を計画より前倒しで進めました。	142.4	347.0	△204.6
7 財 務	1) 寄付金募集事業の継続と積極的運用	1) [獨協大学学生サポート寄付金]の用途として、「国際奨学金」、「学友会発会 60 周年記念事業」などに充当し、有効に活用しました。	0.8	0.5	0.3
	2) 中央棟既存施設建替え資金の積増	2) 中央棟の将来計画に備えた資金として、第 2 号基本引当特定資産と校舎等建設引当特定資産をそれぞれ 1 億円、減価償却引当特定資産を 3 億円積み増しました。	500.0	500.0	0.0
	3) 経常費補助金の獲得強化	3) 着実なポイント加点により、「教育の質に係る客観的指標」はマイナス枠から脱却し、その他の査定区分でも改善となりました。一方、C 区分では、減率が後退しました。補助金獲得について、引き続き強化に努めます。	—	—	—
	4) 経費削減	4) 支出全般については、業務の効率化や更なる経費削減に努めました。	—	—	—

## ■ 2025年度 主要事業計画書

(単位：百万円)

	事業名	事業内容	2025年度予算
1 への 第3期 認定証 評価	1) 学修成果把握のための外部アセスメントテスト等の実施	1) 学修成果把握のためのアセスメントプランに基づくアセスメントテストの実施	37.4
	2) 学部収容定員に対する在籍学生比率の適正化	2) 学部の収容定員を考慮した入学目標者数の設定	—
	3) 大学院収容定員充足率の向上	3) ホームページ、広報媒体への掲載等による情報提供	2.4
		合 計	39.8
2 教育力 の強化	1) 2024年度カリキュラムの着実な履行と点検・評価	1) 教育効果の点検評価と年次進行の準備	0.5
	2) 教学マネジメント体制の整備・充実	2) 各種アセスメントによる学修成果の可視化[「教学 IR 体制」の整備]	1.3
	3) 全学共通カリキュラムの将来構想	3) 全学共通カリキュラムの恒常的な点検評価	—
		合 計	1.8
3 の学生 支援	1) 本学に適した奨学金制度の構築	1) 募集条件等の見直しによる奨学金支給希望学生への支援	566.8
	2) キャリア支援の強化	2) DX 促進によるキャリア支援の拡充	1.3
		合 計	568.1
4 入試 の強化 入試	1) 志願者増加と目標入学者数の確保	1) 効果的な広報活動	116
	2) 入試制度の継続した見直し	2) 入試制度の検証	1.1
		合 計	117.1
5 推進 国際化	1) 現行ビジョンの後継となる新たな国際化推進のための長期ビジョン及び中期計画の策定・実行	1) 国際交流に関する中長期的な展望に基づいた計画の実施 新たな国際奨学金の創設等	14.3
			合 計
6 人事 (組織)	1) 女性の活躍や次世代育成の支援	1) 誰もが働きやすい環境整備	1.5
	2) 新たな人事制度の調査、検討	2) 誰もが働きやすい環境の構築	—
	3) キャリア・デベロップメント・プログラムに基づく人材育成制度の構築	3) 一人一人の自己実現に寄与する人材育成制度に向けた調査・検討	3.2
		合 計	4.7
7 率 既 存 機 器 整 備 計 画 の 検 証 効	1) 中央棟の将来計画の策定	1) 外部コンサルティング会社を用いた中央棟の将来計画の策定	10
	2) 省エネルギーの推進	2) 省エネルギーの推進と啓発	11.4
	3) 既存施設設備のメンテナンス	3) 施設設備の予防保全型管理によるメンテナンス	160
	4) 情報基盤ネットワークの安定稼働	4) 計画に基づく保守点検・更新等	223
	5) 情報セキュリティの強化	5) 関連規程に基づいた情報セキュリティの強化	17.7
	6) ICT を活用した業務効率化	6) ICT ツールを用いた業務の効率化	18.7
		合 計	440.8
8 財 務	1) 経常費補助金の獲得強化	1) 「教育の質に係る客観的指標」に関するポイント獲得のための積極的取り組み	—
	2) 寄付金募集事業の強化	2) 外部資金獲得強化の一環としての「獨協大学学生サポート寄付金」事業への積極的取り組み	0.8
	3) 中央棟の将来計画に要する資金積み増し	3) 将来計画に備えた計画的な特定資産の積み増し	400
	4) 経費削減	4) 業務の見直しと経費に関する適正価格の把握等による経費削減	—
		合 計	400.8